

認定NPO法人 北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

(振込先:郵便局 02790-6-9847 北海道自由が丘学園をつくる会)

〒062-0051 札幌市豊平区月寒東1条15丁目5-11 TEL(011)858-1711 FAX(011)858-1333

URL <http://www.hokjioka.net>

E-mail : [codmokan@agate.plala.or.jp](mailto:codmokan@agate.plala.or.jp)

支援会員・寄金 3,000円 (年額)  
\*会員には、本通信を配布します。



## 《写真説明》

＜ 10/6-7・修学旅行 ＞  
中学生自先行先や内容を決め、  
葉も分担作成のオリジナル企画。  
旭川で初日/公園スポーツレク、  
翌日/旭山 Zoo を楽しみました。  
(今年度初めて宿泊できました!!)

## INDEX

- P1: 巻頭言
- P2: ヒューマンイラスト 会費・集会
- p3: ↓ 学校設立運動
- p4-5: 大学院生の教育レポート
- p6: スクール～修学旅行
- p7: ↓ ～初等部行事2日間
- p8: エッセー、カレンダー、後記
- .....
- (チラシ: 企画など)

## もう一つの (オルタナティブ) 学校へ

北海道教育大学札幌校: 社会科教育・臨床教育学 池田考司

月刊誌『教育\*』(旬報社) 本年7月号で、「もう一つの教育をもとめて」という特集を組み、自由の森学園の菅間正道さんと企画編集を担当しました。

リヒテルズ直子さん、南アルプス子どもの村中学校の加藤博さん、箕面子どもの森学園の辻正矩さん、大阪府立大学の森岡次郎さんに執筆\*\*してもらいました。

この4月に本格実施となった小学校新学習指導要領は、時間割に収まりきれない大量の授業が組み込まれています。そして、教科書に沿った「つかむ→調べる→まとめる」という学習活動マシーンのような動きを子どもたちにさせる授業が連続しています。

日本の公教育は破裂寸前です。「こんな学校に子どもを通わせたくない」、そう思う保護者たちから <もう一つの学校> を求める運動がいま全国で広がっています。

もう一つの学校をつくり、公立学校でももう一つの教育を。そう考え、学生たちとオルタナティブスクールを訪問したり、その教育についての文献検討などをゼミで進めています。

できるだけ早く、日本の教育を変えたい! そう思っています。

[筆者は本認定NPO 法人会員。長年高校教諭をキャリアに持ち、現在教科研の役員も勤められています]

注1\*: この本年5月号には、「新しい小学校をつくる会」(NPO 法人まおい学びのさと) 代表/細田のレポートも掲載されました。

注2\*: リヒテルズさんは日本任ガラン教育協会役員、加藤さんはきのくに子どもの村学園の表記中学校長、「こんな学校もある」、辻さんは認定NPO 法人立の表記学園長/「子どもが自律・協同で学ぶ教育」をレポート。また森岡さんは「多様な学びの多様性」を扱っています。